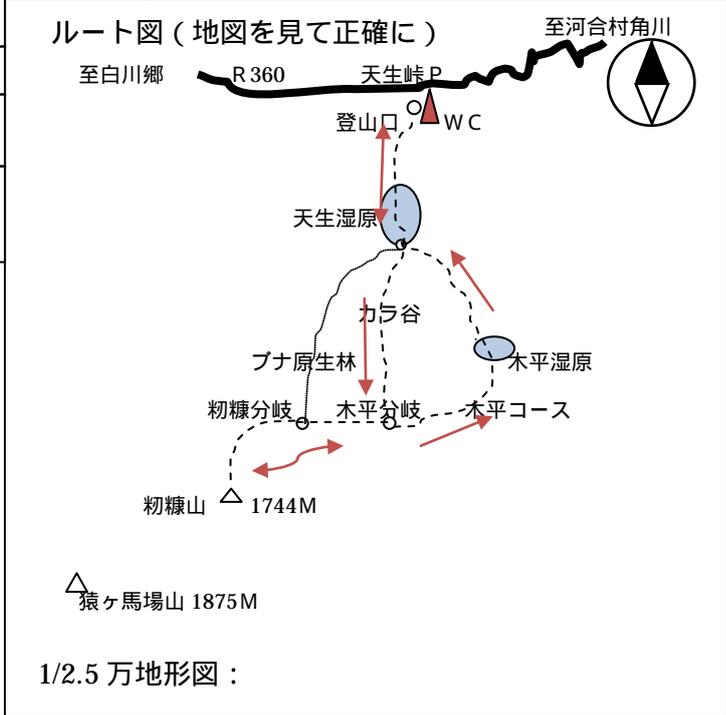


6 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	佐溝直彦	参加 メンバー	佐溝直彦夫妻 他
		報告日	10/6/13		
山 域	飛騨 山系	山行日	6月12日		
山 名	初糠山 1744m				

山行目的	天生湿原の花とブナの新緑を楽しむ ****	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-----------------------	--------------------

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



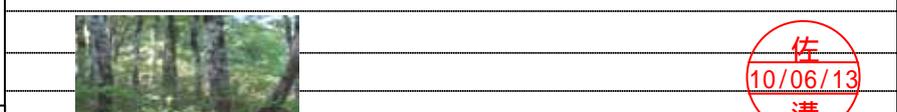
天候: 晴れ
高山市内ホテル発 5:15 ~ 角川
經由 ~ 天生峠着 6:20 (駐車)
コースタイム
登山口スタート 6:50 ~
カラ谷コース ~ 木平分岐 7:55
~ 初糠山山頂 8:40 - 9:00
~ 木平分岐 9:30 ~ 木平湿原
9:50 ~ 登山口 10:50

(写真を撮る為しばしば立ち止りながらの歩行でありコースタイムは参考として見て下さい)

山行報告 天生湿原は10年程前の晩秋、車で天生峠を越えた時、是非湿原歩きをしてみたい・と思っていた場所。R360の例年より10日位遅い冬季閉鎖解除(6月11日午後)を待ち12日早朝河合側から峠に向った、駐車場には既に20台位駐車してある。一人500円の協力金を支払いスタート。(同行の妻と友人はじっくりと湿原やブナ林探勝コースを廻るとの事で別行動とした)。新緑のグリーンシャワーの登山道は今シーズン初日であるがよく手入れされており歩き易い、湿原の水芭蕉はやや最盛期を過ぎていたが期待通りでヨバイケイソウやリュウキンカも彩りを添えている。カラ谷に入っていくとサンカヨウのオンパレードでどの花も「私を撮ってー」とアピールしている様で足がなかなか先に進まない、適度なアップダウンの登山道は所々残雪もあり気分良く歩ける、木平分岐からは今日一番の急登・初糠分岐でほっと一息、頂上へは一ピッチ、先着者2名・北アは霞んで全く見えず、猿ヶ馬場山が西方にドーンと構えて白山を隠している。頂上は広くないので「混雑する時は頂上で弁当(長居)せず次の人に譲って下さい」との注意書き有り。下山路は木平湿原経由とした、この湿原に花は無いが静かなコースである、天生湿原まで降りてくると木道はカメラを構える人人である、皆さんR360の開通を待ちかねていた様子が見える。この初糠山はブナやダケカンバの巨木が多く秘境的な雰囲気を持っている。花も期待通りでこの時期一番多かったのはサンカヨウで他はニリンソウ・水芭蕉・リュウキンカ・エンレイソウ・ツバメオモト等々、カメラマンに人気な花はキヌガサソウ。

(同行の妻達は花のスケッチをしたりして約束の時間を大幅に過ぎゆうゆうと無事下山)

《フリースペース》



佐
10/06/13
溝



確認 (リーダー)
作成 (報告者)

掃路は 白川郷經由高速利用で峠から3.5Hで帰宅した。
ブナの森
リーダー所見 11日から天生峠へのR360開通・13日からは梅雨入りであったので12日は唯一今シーズン最初の入山最適日であった事になりラッキーであった。
天生湿原の紅葉適期は例年10月10~20日である・と登山口のおじさんが教えて呉れた、初糠山は安全で登り易く縦の木の会の紅葉登山の候補にしたい場所の一つだと思った。

サンカヨウ